

反対

●市長は施政方針で、景気低迷の影響による財源の不足分を財政調整基金の有効活用により確保するとしたが、平成22年度末の基金の残高見込み14億円に対し、22年度市債の借入額は、17億円と厳しい状況である。事業内容を見ると、深谷中央特定土地地区画整理事業は、いまだ地権者との合意形成がされないまま事業が進められ、批判がある。また、深谷落合・吉岡西部地区では、工業系の計画に対し、地権者の多くが住居系の土地利用を望んでおり、それぞれの事業の見直しを求める。(仮称)綾瀬インターチェンジは、一部計画が変更されたが、都市計画道路の北伸など、地域住民の

望まない都市基盤整備が行われようとしている。まちづくりは住民の要望により行われるべきであり、事業の中止を求める。このほか、保育園待機児童解消への取り組みは評価するが、このままでは、児童数の増加に追いつかない。また、特別養護老人ホームは、待機者が入所できず、家庭崩壊寸前である。新たな公立保育園の確保と特別養護老人ホームの建設を求める。基地問題では、NLPは減少したものの、通常の離発着訓練は引き続き行われており、爆音被害は解消していない。厚木基地から米軍と自衛隊機をなくし、平和で静かな綾瀬市にすることを求め、本予算に反対する。(日本共産党綾瀬市議団)

●平成21年度は、ようやく景気回復の兆しが見え始めたが、政策的な後押しが個人消費を支えている現状で、自立的回復には程遠い。そのような中、基金の取り崩しや臨時財政対策債の発行で、民生費や教育費に建設的予算配分を行い、市民生活の安定を図ったことは評価する。また、保育園の待機児童解消に力を入れるなど、福祉の取り組みには賛成できるが、将来のまちづくりに影響する道路政策には賛成できない。(仮称)綾瀬インターチェンジをスマートインターチェンジとすることは、高速道路を生活道路として利用できるなど、期待できる面もあるが、市内への流入車両が増加し、住環境に与える影響が大きい。さらに、29年度までの設置・開通が前提であることから、同時期に寺尾上土棚線北伸部の整備が完了していないと大渋滞が予想され、環境破壊も計り知れない。そのため市民と丁寧に進める

とした検討会の議論に期限を設定し、強引に住民合意を得ようとしていないか危惧している。長年培ってきたコミュニティや環境の破壊も予想され、都市機能の再構築と産業活性化のために払われる犠牲がどれだけ残酷なものかを感じなければならぬ。市民の声に耳を傾け、真に市民の幸福を実現する市政を希望し、本予算に反対する。

※()は、会派名です。記載のないものは、会派を組んでいない議員の意見です。

市政に対する一般質問

食育につながる地産地消の推進へ向けた学校給食とは

公明党 井上 賢二

問 平成17年に食育基本法が成立し、その後策定された食育推進基本計画を受け、学校給食での食育と地産地消の推進が始まっている。地産

物を使った学校給食は地産地消を推進し、地域との距離を縮め、食への感謝の気持ちを育てると考えるが、今後どのように取り組むか。荒川区では、高齢者が児童と学校給食を食べる「おたっしランチ」

事業が行われているが、市内の小学校でも実施しないか。また、飲食店や小売店では、食べ残しや期限切れ食品の残さが捨てられているが、食品ロス削減への指導内容を伺う。

答 学校給食への地産地消物の使用は、食物への感謝の心をはぐくむ食育の面から有効と考えており、本市では、従前より綾瀬産の鶏卵、豚肉、野菜類を食材として使用している。学校給食は安全と安心、安定供給が前提であり、今後も

生産者などの協力を得ながら地産地消の推進を図る。おたっしランチの実施は、給食時間に制限があるため難しいが、高齢者福祉の観点からも研究していきたい。食品ロスの削減では、資源物として再生利用に努めるよう全事業所に指導・啓発しており、来年度は事業系一般廃棄物の減量化マニュアル作成などを行う。(ほかに「コンビニエンスストアと連携した地域活性化について」を質問)

生涯学習の理念を掲げないか。生涯学習は、輝く市民を創出する大切な分野だが、その振興をどう考えるか。公民館事業や市民オペラ、史跡ガイドボランティア育成など多くの成果があったが、史跡ガイドは、市長部局との連携を考えないか。また、中学校の部活動は、学業と同等に重要で、部活動指導顧問の制度などを活用し、生徒が希望する部活動を支援する考えは。

答 本市の教育理念として、平成13年に「綾瀬市教育の方針」を策定した。この方針の下、教育の振興を図っており、教育委員会会議の中では、教育振興に当たっての多種多様な課題の検討・審議を行っている。生涯学習の振興では、市民の学習意欲の高まりを受

輝く市民やあやせ っ子の未来に向けて必要な施策とは

安藤 多恵子

問 教育委員会の点検・評価報告を見ると、教育全体を見渡したもののやあやせっ子の未来、生涯学習にかかわることなどが、もっと議論が必要と思うがどうか。また、教育委

員会の理念を掲げないか。生涯学習は、輝く市民を創出する大切な分野だが、その振興をどう考えるか。公民館事業や市民オペラ、史跡ガイドボランティア育成など多くの成果があったが、史跡ガイドは、市長部局との連携を考えないか。また、中学校の部活動は、学業と同等に重要で、部活動指導顧問の制度などを活用し、生徒が希望する部活動を支援する考えは。

答 本市の教育理念として、平成13年に「綾瀬市教育の方針」を策定した。この方針の下、教育の振興を図っており、教育委員会会議の中では、教育振興に当たっての多種多様な課題の検討・審議を行っている。生涯学習の振興では、市民の学習意欲の高まりを受



あやっこりー

